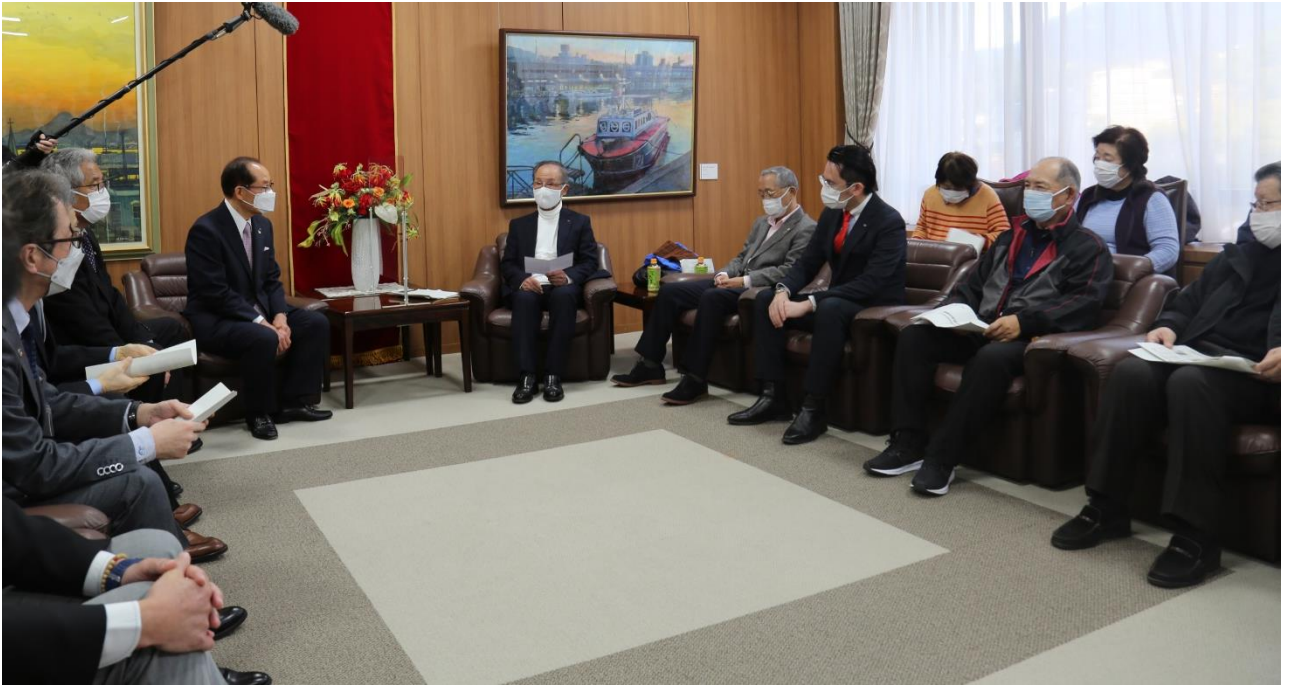


# 石木ダム建設促進佐世保市民の会 施設見学&意見交換会

令和4年12月20日(火)に、石木ダム建設促進佐世保市民の会の皆さまをお招きして、老朽化したダム施設の現地見学会と、市長との意見交換会を開催しました。



## ●施設見学会

本市が保有するダムのうち、**最も新しい下の原ダム**と**最も古い山の田ダム**の内部施設の**老朽化状況**を見学してもらいました。

・近代規格で建設された下の原ダムと、戦前に旧海軍が建設した山の田ダムの内部構造の違い

・内部施設の更新時期を迎えている下の原ダムと、その時期の約3倍を経過している山の田ダムの老朽化の進行状況

・・・など

## ●市長との意見交換会

施設見学会に参加された皆さんと市長、議長を交えた意見交換会を行い、参加された皆さんから「**実際に見て驚いた。**」、「**老朽化対策のためにも水源の安定化が必要。**」、「**実態を知れば多くの人理解すると思う。**」、「**市民の皆さんにもしっかり知らせしてほしい。**」等の多くの意見が出されました。

# 施設見学の主な内容

## 下の原ダム



佐世保市南部水系の唯一のダム

昭和43年に建設し、平成17年に嵩上げ(再開発)した、本市で最も新しいダムです。



嵩上げ(再開発)部分のダムの定礎



広い空間に設置された取水塔

内部に広い作業空間が確保され、漏水計やたわみ計等の観測機器があらかじめ設置された近代のダムです。



漏水計



たわみ計



導水管(右側は当初整備部分)

一方で、当初建設部分は50年以上が経過しており、内部設備は老朽化により**更新時期を迎えています**。(法定耐用年数40年)



錆で覆われた排水バルブ



# 施設見学の主な内容

## 山の田ダム



本市最古のダム。平成18年に堤体補強を実施。

明治41年に旧海軍が建設した、本市で最も古いダムで、土を盛って造られたアースダムです。



内部には当時建設に関わった人の氏名が掘られた碑が残されている。



左は取水塔を見上げた写真、上は取水塔の根もと部分。

明治期に整備された施設を、そのままの形で現在も使用しています。

内部空間が極めて狭く、既存施設の使用を続けながら、新しい施設を整備するスペースがありません。

そのため、工事には**長期間のダムの運用休止**を伴います。



著しく老朽化した内部施設の様子



「明治39年」の刻印がある導水管

法定耐用年数(40年)の**3倍**近くが経過しており、**著しく老朽化**しています。更新・改修が急務ですが、水源不足の現状では、**ひとつでもダムを運用休止にする余裕がない**ため、工事に着手できません。